Nidec
All for dreams

364-23-067-1

Ｅｘｃｅｌ用アドインソフト

デジタルフォースゲージ
FGPX/FGP シリーズ専用ソフト

トリえもん-S

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。

ご使用前に、デジタルフォースゲージ FGPX/FGP シリーズの取扱説明書と
ともによくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ニデックドライブテクノロジー株式会社

ー　目次　ー

1.　ご使用の前に　2

2.　構成　2

3.　セットアップ　3

3.1.　ダウンロードファイルの解凍　3

3.2.　トリえもん-S のインストール　4

4.　トリえもん-S　ソフト内容　6

4.1.　起動　6

4.2.　画面及び機能　8

4.2.1.　初期画面　8

4.2.2.　メイン入力画面　9

4.2.3.　連続データ取込　11

4.2.4.　1 件データ取込　15

4.2.5.　メモリモード　17

4.3.　通信異常時について　21

注意事項

・「トリえもん-S」およびその関連書類に関する著作権などの一切の権利は、当社に留保されるものとします。

・その他の注意事項につきましては、本ソフトインストール時に提示される利用規約文をご確認ください。

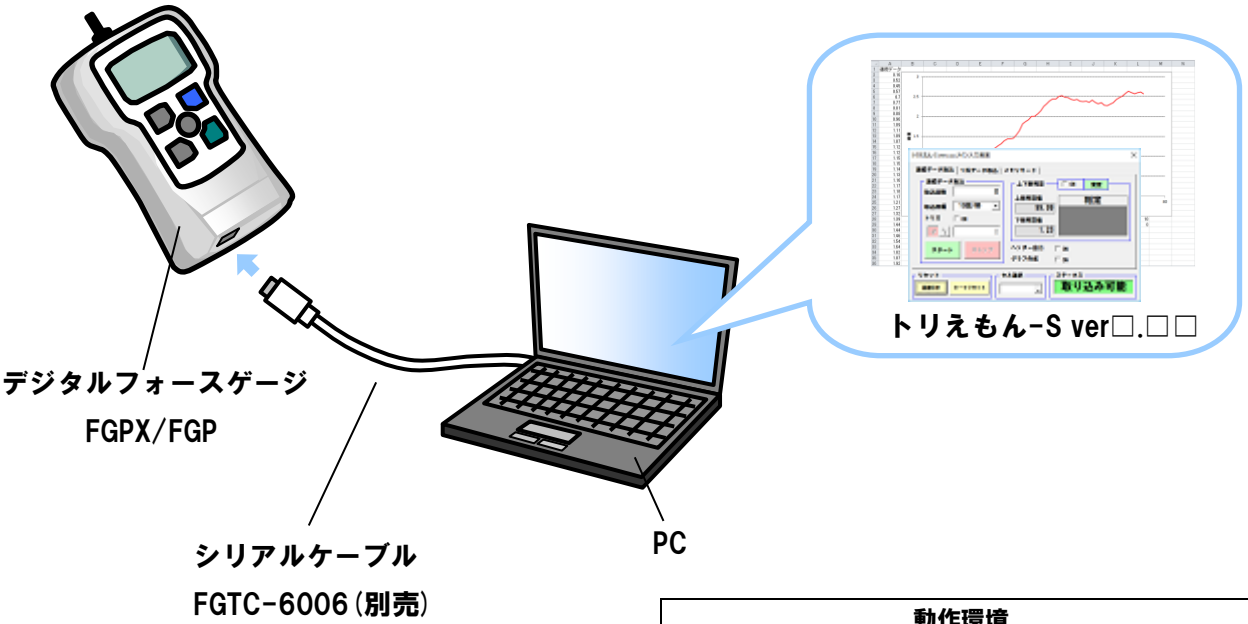
1. ご使用の前に

この度は、デジタルフォースゲージ FGPX/FGP 専用ソフトウェア“トリえもん-S ver□.□□”をご使用頂き、ありがとうございます。

トリえもん-S ver□.□□(以下 本ソフト)は、デジタルフォースゲージ FGPX/FGP-□シリーズ(以下フォースゲージ)専用の Excel 用アドインソフトです。

なお、フォースゲージについては FGPX/FGP-□シリーズ付属の本体取扱説明書をお読みください。

2. 構成



動作環境
・Microsoft Windows® 10※(日本語環境) 64bit ・Microsoft Excel® 2016※ 32bit/64bit ・Microsoft Excel® 2019※ 32bit/64bit

※ デジタルフォースゲージの電源が ON であることを確認してからシリアルケーブルをパソコンの RS-232C シリアルポート(D サブ 9 ピン)に接続してください。
シリアルポートが備わっていない場合は、市販のシリアル/USB 変換アダプタをお客様でご用意のうえ USB ポートに接続してください。
【ご参考】市販変換アダプタの例(動作保証は弊社ではいたしかねます)
・株式会社アイ・オー・データ機器　シリアル変換アダプタ　型式:USB-RSAQ6 シリーズ
・株式会社バッファロー　USB シリアル変換ケーブル　型式:BSUSRC06 シリーズ

※ トリえもん-S ver□.□□をご使用中に、本体の電源を OFF にしたり、本体の上下限コンパレータ値やメモリモードの変更等を行うと、計測結果を正常に表示できなくなる可能性がありますので、ご注意ください。

※ Microsoft、Windows、及び Excel は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

3. セットアップ

トリえもん-S ver□.□□ご使用の前に、トリえもん-S ver□.□□のセットアップが必要です。

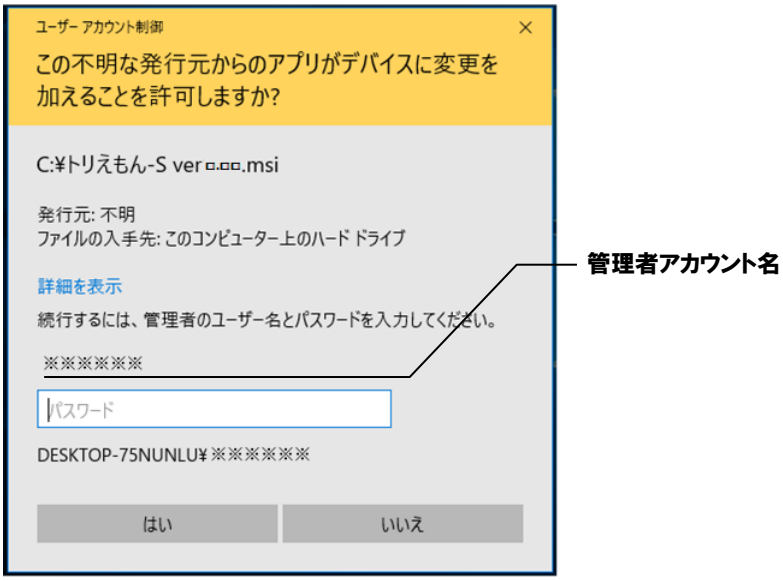
ソフトウェアのインストールについては、管理者権限ログオンした状態で行ってください。

●標準ユーザ権限でインストールを行う場合について

管理者権限でログオンしていないユーザーアカウントで本ソフトをインストールする場合、インストール時に下記の画面が表示されます。

管理者アカウントのパスワードを設定している場合はパスワードを入力して「はい」をクリックし、インストールを続行してください。

※ パスワードを設定していない場合は、パスワード入力欄をブランクのまま「はい」をクリックしてください。



3.1. ダウンロードファイルの解凍

弊社ホームページよりダウンロードした toriemon-S_download_v***.exe ファイルを実行すると、

以下のようなファイルが保存先に解凍されます。

※ □.□□はバージョン情報を示しています。

- トリえもん-S v□.□□.msi
- トリえもん-S 取扱説明書.pdf

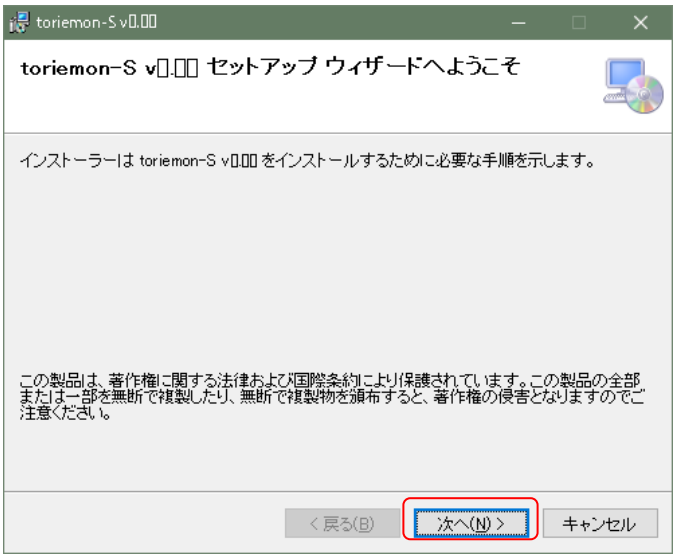
3.2.　トリえもん-S のインストール

ダウンロードファイルを解凍したフォルダ内のインストールパッケージ トリえもん-S v□.□□.msi を
ダブルクリックし、インストールを開始します。

トリえもん-S ver□.□□.msi

ダブルクリック

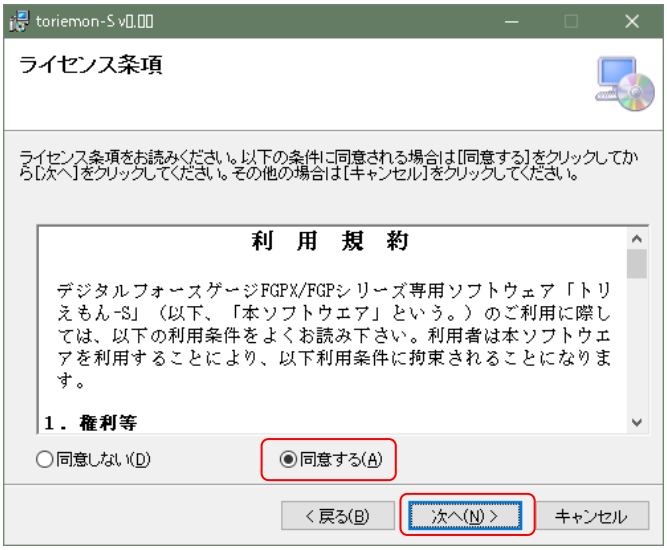
①



「次へ」をクリックし、

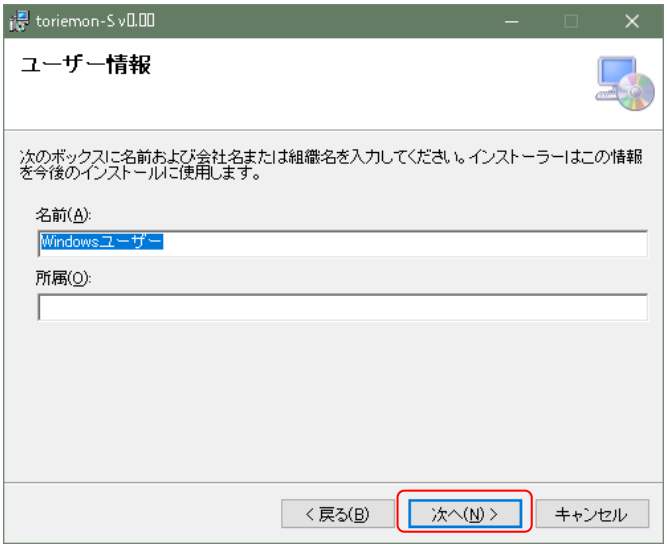
次の画面へ進みます。

②



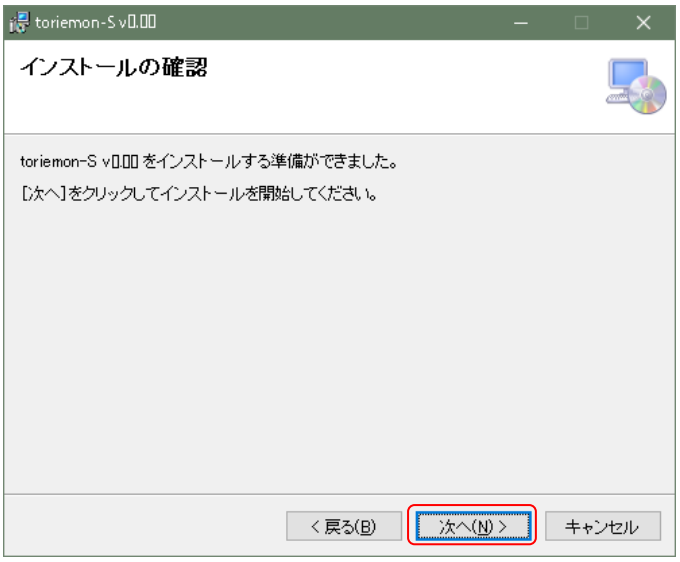
利用規約をお読み頂き、
「同意する」にチェックを入れてください。
「次へ」をクリックし、次の画面へ進みます。

③



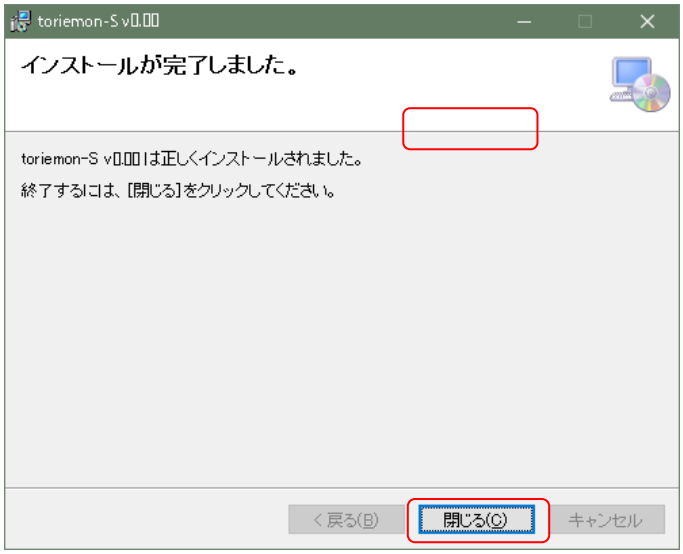
「ユーザ名」、「所属」を入力してください。
「次へ」をクリックし、次の画面へ進みます。

④



「次へ」をクリックすると、
インストールを開始します。

⑤

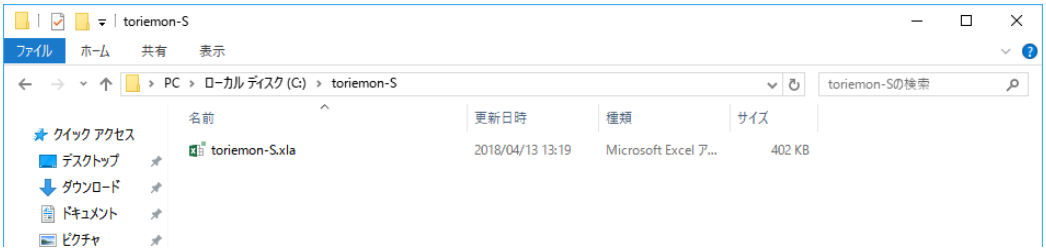


「閉じる」をクリックし、
インストールが完了します。

● トリえもん-S ver□.□□のインストールが完了すると、C:¥フォルダ内に下記のファイルが作成されます。

toriemon-S

+--- toriemon-S.xla ：Excel アドインソフト（トリえもん-S ver□.□□）



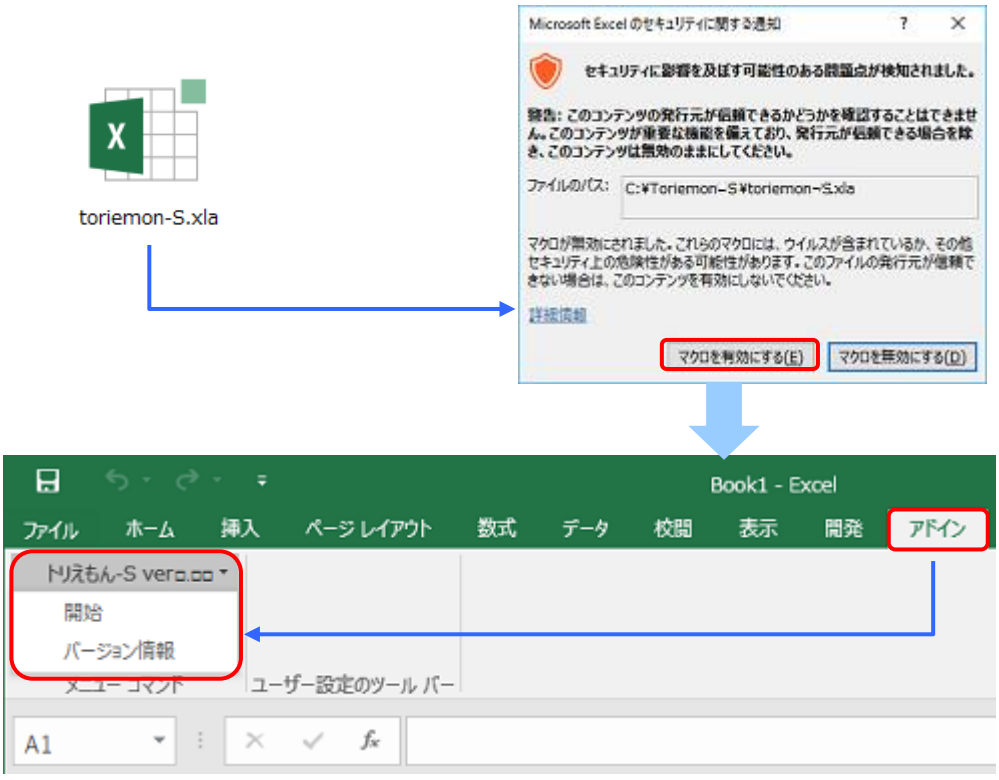
4　トリえもん-S　ソフト内容

4.1　起動

C:¥内の「toriemon-S」フォルダ内にある「toriemon-S.xla」ファイルをダブルクリックすると、Excel 画面が立ち上がります。

● Excel2016 / 2019

● 本ソフトを起動すると、マクロの有効/無効選択ウィンドウが表示されますので、「マクロを有効にする(E)」を選択してください。Excel 画面のメニューバーに、"アドイン"が追加され、その中から"トリえもん-S ver□.□□"メニューを選択することが出来る様になります。

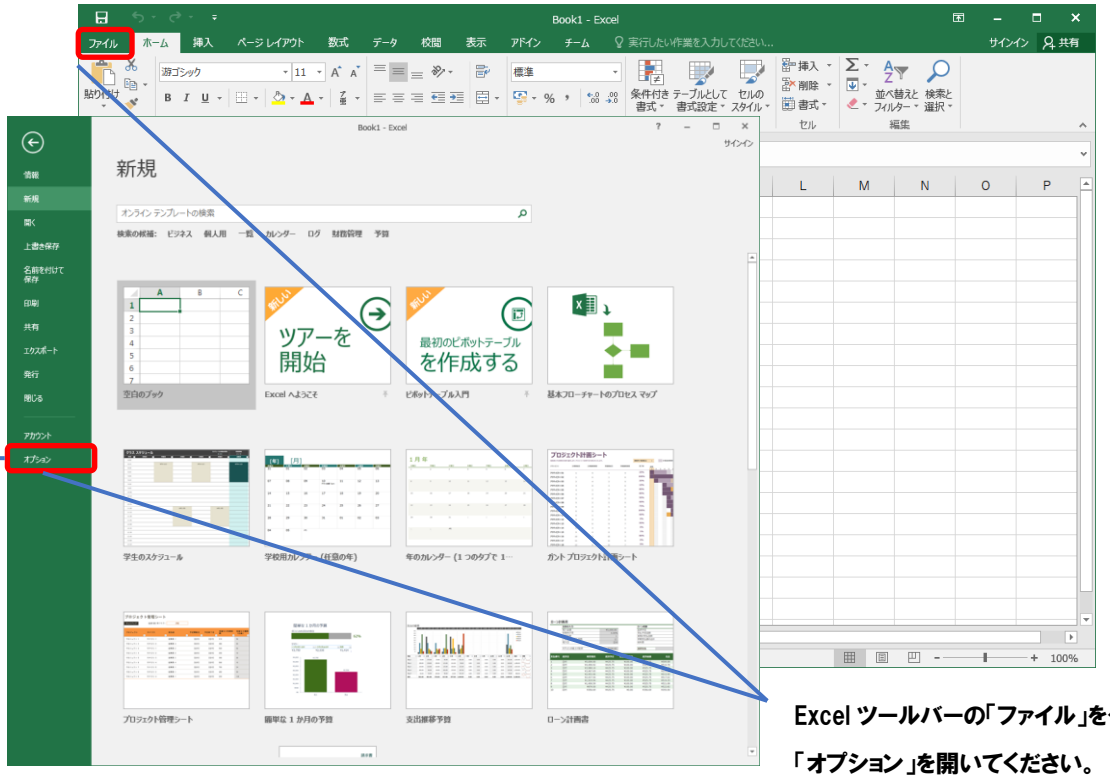


● デジタルフォースゲージとパソコンを接続し、新規にブックファイルを開いた後、Excel のメニューに追加された"トリえもん-S ver□.□□" メニューから「開始」を選択すると、"トリえもん-S ver□.□□"が起動します。

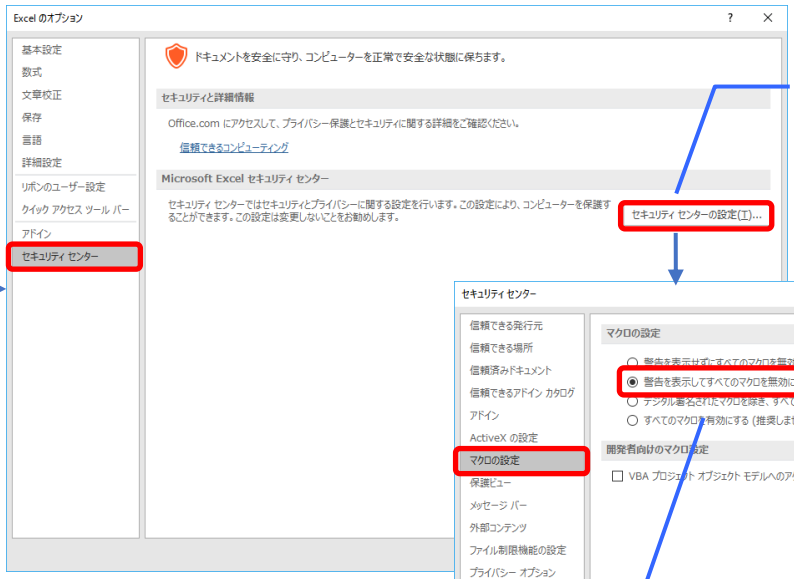
● 「バージョン情報」を選択すると、本ソフトのバージョンを確認することが可能です。

● マクロの有効/無効選択ウィンドウが表示されない場合は、本ソフトを開始する前に、下記手順でマクロのセキュリティレベルを変更してください。

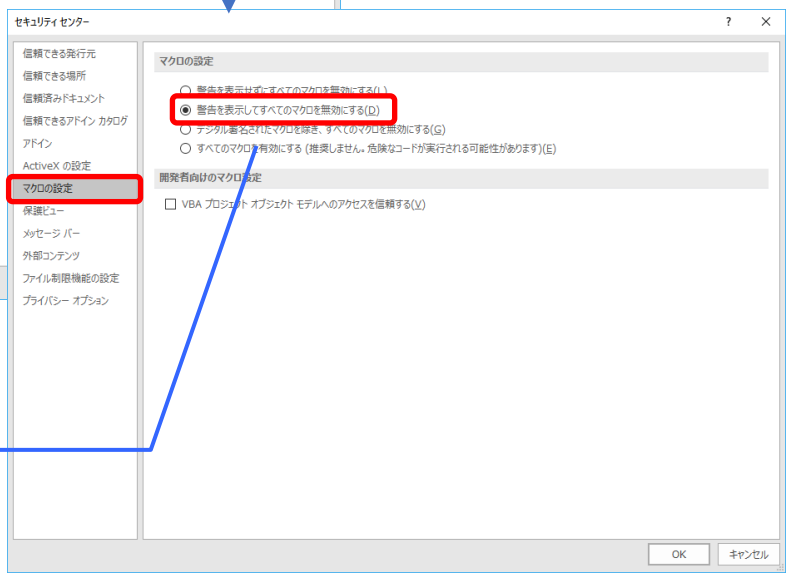
・Excel2016/2019 の場合



Excel ツールバーの「ファイル」をクリックし、
「オプション」を開いてください。



「セキュリティセンター」から
「セキュリティセンターの設定」を
開いてください。

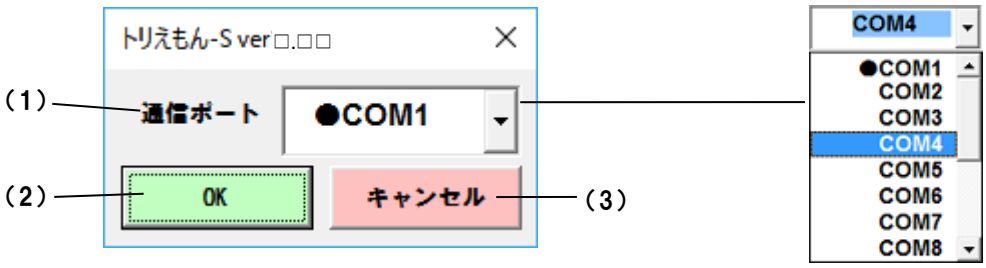


「マクロの設定」の
「警告を表示して全てのマクロを無効にする」
を選択し、「OK」をクリックしてください。

4.2. 画面及び機能

4.2.1. 初期画面

トリえもん-S ver□.□□が起動すると以下の画面が表示されます。

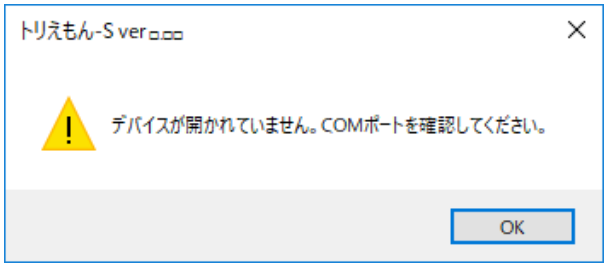
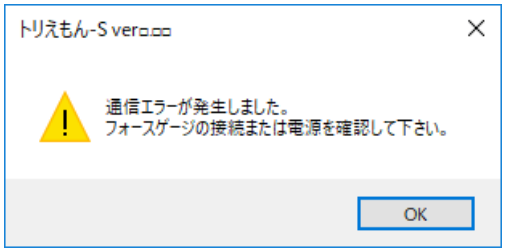


(1) 通信ポート　：　通信ポートを COM1～COM15 から選択します。
有効なポートには COM 番号の前に●印を表示します

(2) OK　：　クリックすると設定内容を FGPX/FGP に送信し、メイン入力画面を表示します。

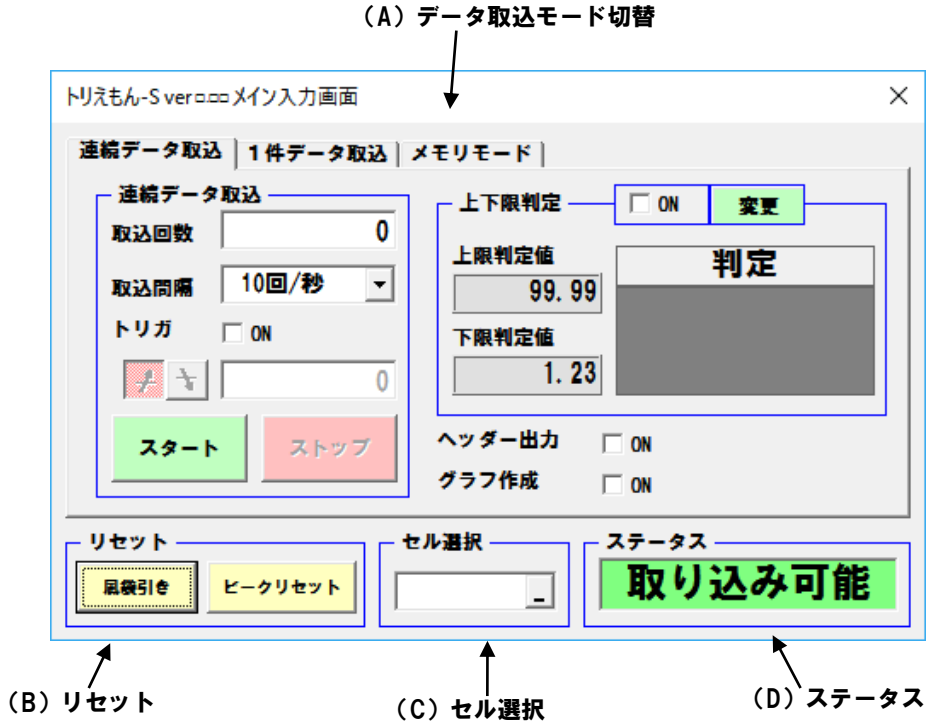
(3) キャンセル　：　クリックすると初期画面を閉じます。

OK ボタンクリック時に、通信に異常がある場合は以下のメッセージが表示されます。

・「通信ポート」でパソコンの設定とは異なる通信ポートを選択している場合 ・パソコンと FGPX/FGP が接続されていない場合	
パソコンと FGPX/FGP 間のシリアルケーブルの接続を 確認してください。 接続に異常のない場合は、 ご使用のパソコンの COM ポート環境を確認してください	
・FGPX/FGP の通信設定が正しく設定されていない場合	
FGPX/FGP のボーレートが 19200 になっているか 確認してください。 なっていない場合は FGPX/FGP のボーレートを 19200 に設定してください。	

4.2.2.　メイン入力画面

通信が正常な場合、初期画面において「OK」ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



（A）データ取込モード切替

データ取込モードを「連続データ取込」、「1 件データ取込」、「メモリモード」の 3 つのタブから選択します。

選択したデータ取込モードのページが表示されます。

①　「連続データ取込」モード

フォースゲージからの連続した荷重データをリアルタイムに取り込む機能です。

上下限判定、グラフ作成が可能です。

②　「1 件データ取込」モード

1 件の計測値、ピーク値を取り込む機能です。上下限判定が可能です。

③　「メモリモード」

フォースゲージのメモリ内容を取り込んだり、フォースゲージのメモリモード計測をリモートで開始、停止することのできる機能です。

（B）リセット

①　風袋引き

フォースゲージ本体の風袋引きを行います。

②　ピークリセット

フォースゲージ本体のピークリセットを行います。

（C）セル選択

セル選択欄のテキスト入力部にセルアドレスを入力するか、テキスト入力部右端のボタンをクリックすると、データを挿入するセルを選択することができます。選択したセルは、データ取り込み時にアクティブとなります。選択欄が空白の場合、現在アクティブとなっているセルからデータを挿入します。

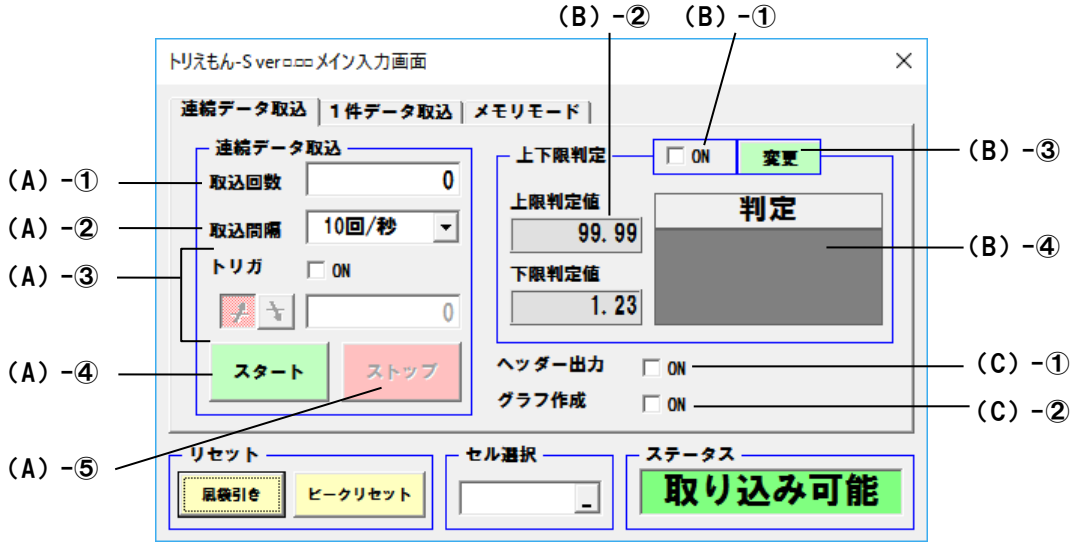
（D）ステータス

データ取込状態が以下のように表示されます。

表示	状態
「取り込み可能」	データ取り込み可能時
「取り込み中」	連続データ取り込み中
「取り込み待ち」	トリガによる連続データ取り込み待ち時
「計測中」	メモリモード計測中
「通信異常」	フォースゲージとパソコンが正しく接続されていない場合
「接続異常」	

4.2.3.　連続データ取込

メイン画面の「連続データ取込」タブをクリックすると、下図のページが表示されます。
「連続データ取込」は、フォースゲージからの連続した荷重データを、リアルタイムに Excel 上に取り込む機能です。上下限判定、グラフ作成が可能です。



（A）連続データ取込

①　取込回数（0～65000）

連続データを取り込む際のデータ数を指定します。
入力値が 0 の場合、データ数 65000 まで取り込みます。

②　取込間隔

10 回/秒、20 回/秒、50 回/秒、100 回/秒をプルダウンメニューから選択します。
例：　100 回/秒選択　→　1 秒間に約 100 件のデータを取り込みます。

> 注意事項
> ・連続データ取込におけるデータの「取込間隔」は、おおよその値です。
> 　実際には、「取込間隔」で設定した 1 秒間当たりのデータ数よりも多く取り込むことがあります。

③　トリガ（-9999～9999）

・トリガ ON チェックボタン
チェックボタンをクリックすることでトリガ ON/OFF を切り替えます。
チェックした状態で取り込みを開始するとトリガが有効になります。トリガが ON になっていない場合、トリガモードの切り替え及びトリガ値の入力はできませんので、トリガを ON にしてから入力してください。

・トリガモード切替
　・「 ↗ 」ON 時（＋トリガ）：　計測値がトリガ値以上になった場合、データの取込を開始します。
　・「 ↘ 」ON 時（－トリガ）：　計測値がトリガ値以下になった場合、データの取込を開始します。

④　スタートボタン

連続データ取り込みを開始します。
連続データ取り込みは、ストップボタンを押すか、入力した取込回数だけデータを取り込むまで継続します。
スタートボタンをクリックすると、データ取り込みが終了するまで、ストップボタン以外全てのボタンが無効となります。

⑤　ストップボタン

連続データの取り込みを停止します。

（B）上下限判定

①　判定 ON　チェックボタン

チェックボタンをクリックすることで判定の ON/OFF を切り替えます。

OFF の場合、上下限判定は行いません。

②　上下限判定値表示欄

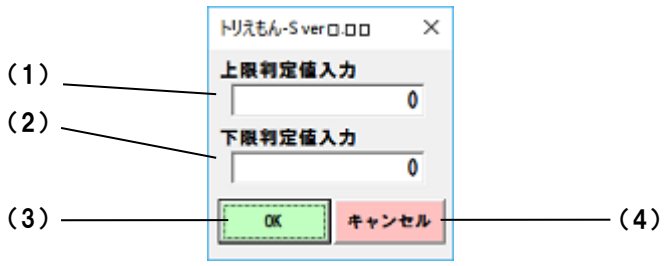
荷重判定の上下限判定値を表示します。

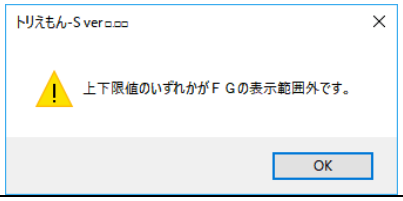
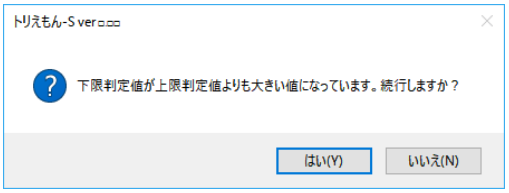
トリえもん-S ver□.□□起動時、もしくはデータ取込モード変更時にフォースゲージで設定されている

上下限コンパレータ値を読み込み表示します。

③　変更ボタン

クリックすると以下のような入力フォームが表示されます。



(1) 上限判定値入力 (-9999～9999)	上限編定置を入力します。 入力可能範囲であっても、接続しているフォースゲージの表示範囲外の値を入力した場合は、 OK ボタンをクリック時に下図のエラーメッセージが表示され、変更を反映することができません。 
(2) 下限判定値入力 (-9999～9999)	下限判定値を入力します。 入力可能範囲であっても、接続しているフォースゲージの表示範囲外の値を入力した場合は、 OK ボタンクリック時に (1) 同様のエラーメッセージが表示され、変更を反映することができません。
(3) OK ボタン	クリックすると、上下限判定値を変更し、フォースゲージ本体のコンパレータ設定値の変更も 同時に行います。 上限判定値よりも下限判定値の方が大きい値の場合、OK ボタンクリック時に下図の 警告メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると続行します。 
(4) キャンセルボタン	クリックすると、上下限判定値を変更せずに入力フォームを終了します。 このとき、フォースゲージのコンパレータ設定値の変更も行われません。 上下限判定値は入力フォームの変更ボタンをクリックする前の状態のままとなります。

④　判定ウィンドウ

グラフ作成を行わない場合、データ取込終了と同時に上下限判定を行い、結果をメイン入力画面の判定ウィンドウに表示します。

判定ウィンドウの表示は以下のようになります。

・連続データの荷重が範囲内にある　：　OK 表示　（背景・フォント　青）

・連続データの荷重が範囲外にある　：　NG 表示　（背景・フォント　赤）

・上限値＜下限値　：　NG 表示　（背景・フォント　赤）

・判定を行わない　：　グレーで塗りつぶし

（C）その他

①　ヘッダー出力チェックボタン

チェックボタンをクリックすることでヘッダー出力 ON/OFF を切り替えます。

チェック時にデータ取り込みを行うと、Excel に出力されるデータの先頭に「連続データ」の表示を追加します。

一度取り込みを行うと、チェックは解除されます。

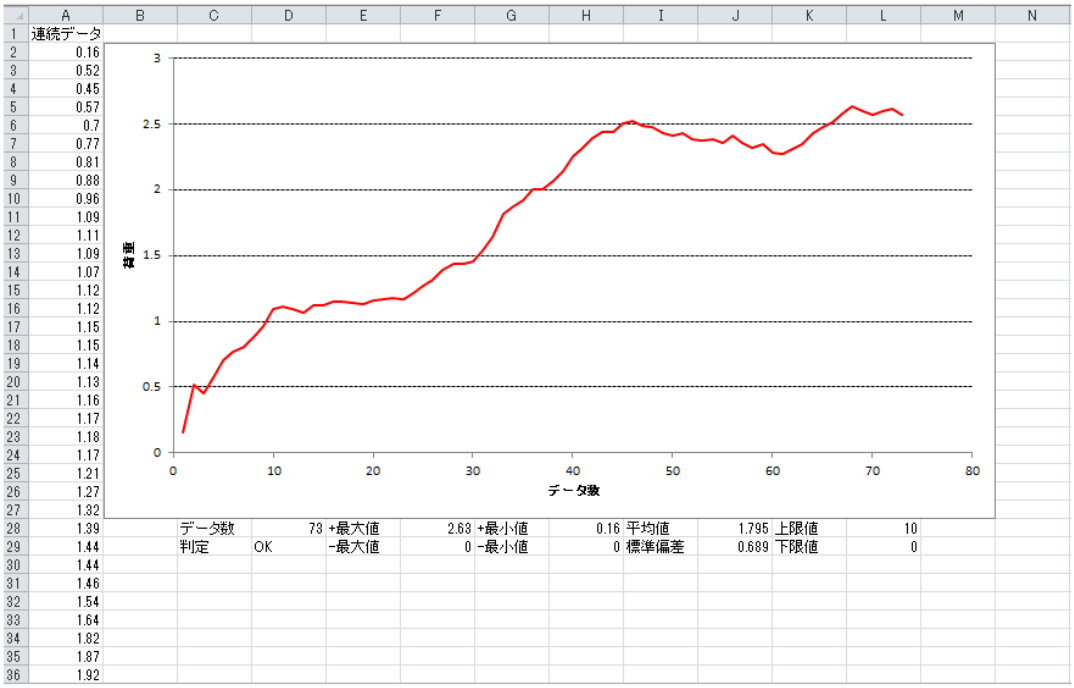
②　グラフ作成チェックボタン

チェックボタンをクリックすることでグラフ作成 ON/OFF を切り替えます。

連続データ取込時、グラフ作成 ON であれば、ワークシート（シート名：Graph1～(連番)）を一番後ろのシートに追加します。そのシートに移動し、連続データを取り込み、グラフを作成、下図のようなシートを作成します。

グラフ作成時は、セル選択に関わらず、Graph シートの A1 セルから開始します。

また、ヘッダー出力チェックボタンの ON/OFF に関わらず、ヘッダーを出力します。



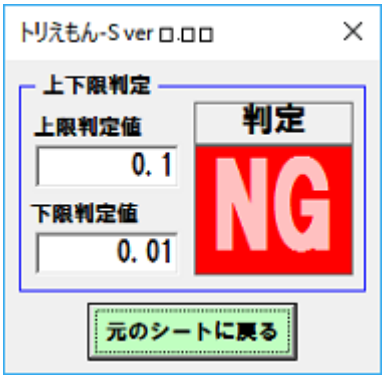
②-（1）　Graph シート

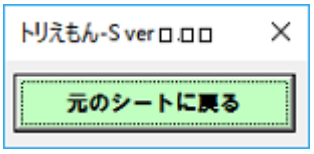
一回の連続データ取込終了時、グラフを作成し、以下項目をワークシートに出力します。

- データ数　：　取り込んだデータ数
- 判定　：　連続データの上下限判定結果
- ＋最大値　：　＋の範囲での荷重最大値
- －最大値　：　－の範囲での荷重最大値（絶対値により判定）
- ＋最小値　：　＋の範囲での荷重最小値
- －最小値　：　－の範囲での荷重最小値（絶対値により判定）
- 平均値　：　連続データの平均値
- 標準偏差　：　連続データの標準偏差
- 上限値　：　メイン入力画面で設定した上限判定値
- 下限値　：　メイン入力画面で設定した下限判定値

②-（2）　Graph シートの終了

グラフ作成後、メイン入力画面で判定が ON だった場合は下左図、判定 OFF だった場合は下右図のようなウィンドウを表示し、「元のシートに戻る」クリックでグラフ作成前のシートに戻ります。

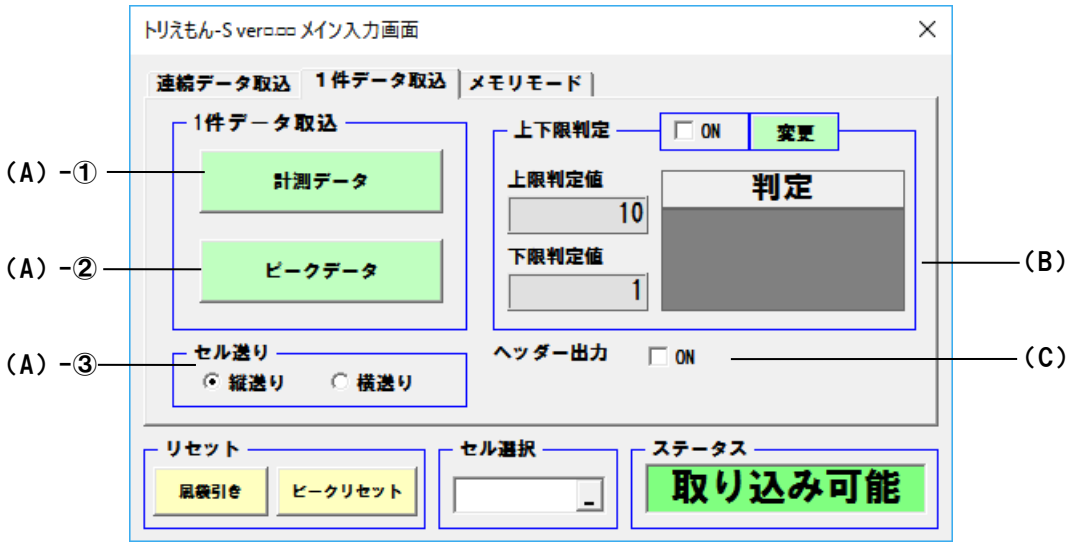




4.2.4.　１件データ取込

「１件データ取込」のタブをクリックすると下図のページが表示されます。

このモードは、１件の計測値、ピーク値を取り込む機能です。上下限判定が可能です。



（A）１件取込

①　計測データボタン

計測データボタンをクリックすると、１件の計測データがワークシートの選択しているセルに挿入されます。

計測データをセルに挿入後、セル送り方向で指定した方向にアクティブセルが移動します。

②　ピークデータボタン

ピークデータボタンをクリックすると、１件のピークデータ（＋ピークデータ、-ピークデータ）がワークシートの選択しているセルに挿入されます。

ピークデータをセルに挿入後、セル送り方向で指定した方向にアクティブセルが移動します。

なお、１件ピークデータを取り込むと、フォースゲージ本体のピークデータはリセットされます。

③　セル送り方向

計測データ取込、ピークデータ取込時の、セルへのデータ挿入方向を指定します。

（B）上下限判定

判定ウィンドウ

計測データ取込と同時に上下限判定を行い、結果を判定ウィンドウに表示します。

判定は、ピークデータでは行いません。判定ウィンドウの表示は以下のようになります。

・荷重が範囲内にある	：	OK （背景・フォント：青）
・荷重が上限より大きい	：	HIGH （背景・フォント：赤）
・荷重が下限より小さい	：	LOW （背景・フォント：赤）
・上限値＜下限値であり、荷重が上限以上下限以下である	：	BOTH （背景・フォント：赤）
・判定を行わない	：	グレーで塗りつぶし

※　判定ウィンドウ表示内容以外は「連続データ取込」モードの操作と同じです（P12 参照）。

（C）その他

ヘッダー出力チェックボタン

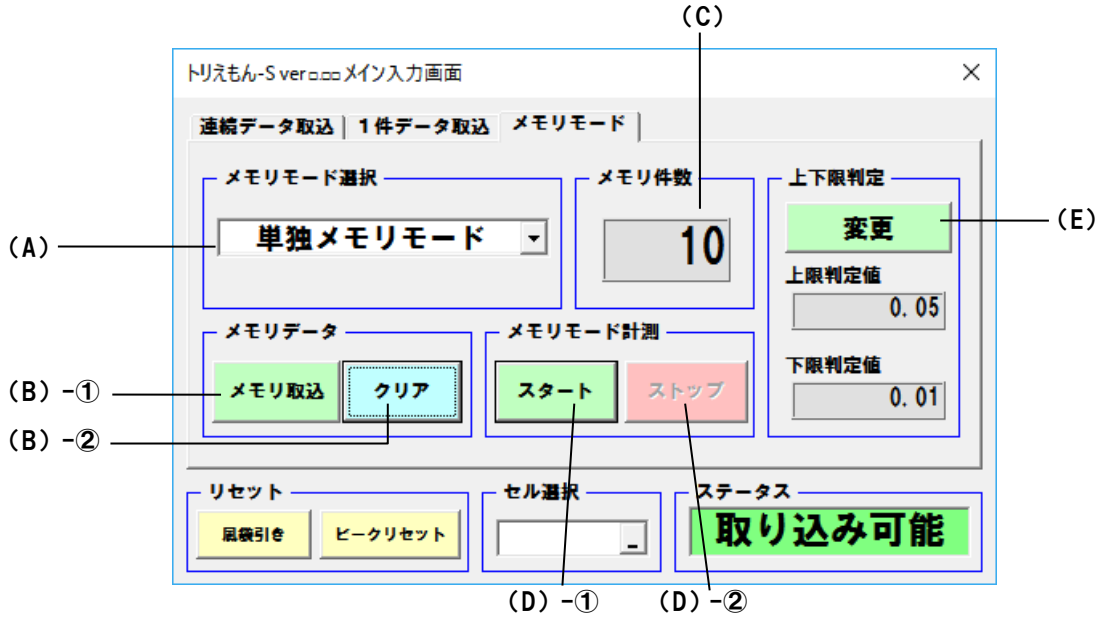
チェックボタンをクリックすることでヘッダー出力 ON/OFF を切り替えます。

チェック時にデータ取り込みを行うと、Excel に出力されるデータの先頭に、計測データ取込時は「計測データ」の表示、ピークデータ取込時は「＋ピーク」「－ピーク」の表示を追加します。一度取り込みを行うと、チェックは解除されます。

4.2.5.　メモリモード

「メモリモード」のタブをクリックすると下図のページが表示されます。

このモードは、フォースゲージのメモリ内容を取り込んだり、フォースゲージのメモリモード計測をリモートで開始、停止することのできる機能です。



(A) メモリモード選択

単独メモリモード、連続メモリモード、標準メモリモードをプルダウンメニューより選択し、フォースゲージ本体のメモリモードを変更することが可能です。

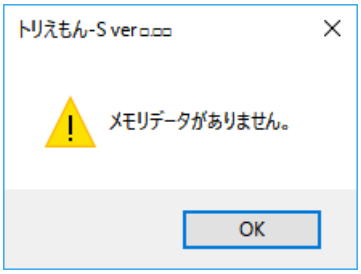
トリえもん-S ver□.□□起動時、もしくはデータ取込モードのページ変更時に、フォースゲージ本体からメモリモードを読み出し、表示します。

(B) メモリデータ

①　メモリ取込ボタン

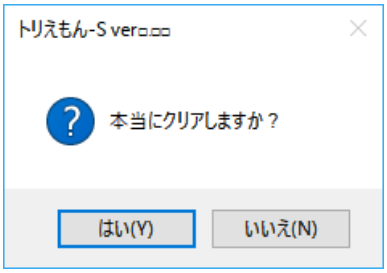
クリックすると、現在フォースゲージ本体で選択されているメモリモードのデータを取り込みます。

メモリデータが０件の場合は、下図メッセージ「メモリデータがありません。」を表示し、メモリデータ取込を行いません。



②　クリアボタン

クリックすると、メッセージ「本当にクリアしますか？」が表示されるので、「はい」をクリックすると、現在フォースゲージ本体で選択されているメモリモードのデータを全消去します。



（C）メモリデータ件数

選択中のメモリモードのメモリデータ件数を表示します。

トリえもん-S ver□.□□起動時、データ取込モード変更時、またはメモリモード計測終了時にフォースゲージ本体からメモリモードを読み出し、表示します。

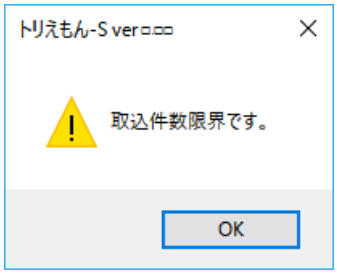
（D）メモリモード計測

①　スタートボタン

選択中のメモリモードでの、フォースゲージ本体のメモリ取込を開始します。

連続/標準メモリモードで計測を開始した場合、ストップボタンによって計測を終了します。

フォースゲージ本体のメモリがフルである場合は、下図のメッセージが表示され、計測を開始できません。



②　ストップボタン

メモリモード計測中にクリックすると計測を終了します（単独メモリモードでは無効）。

（E）上下限判定

上下限判定値を設定、表示します。操作方法は「連続データ取込」モードの操作（P12 参照）と同様です。

ただし、メモリモードでは判定 ON/OFF 切り替え、及び判定ウィンドの表示は行いません。

●メモリデータ内容

メモリデータは、以下の様に Excel へ取り込みます。

（1）単独メモリデータ取込

	A	B	C	D
1	単独メモリ			
2	単位	N		
3	データ数	23		
4	+最大値	0.874		
5	-最大値	0		
6	+最小値	0		
7	-最小値	0		
8	平均値	0.384		
9	標準偏差	0.2691		
10	上限値	0.5		
11	下限値	0.1		
12	メモリ番号	判定	荷重	
13	1	L	0	
14	2	O	0.15	
15	3	O	0.256	
16	4	O	0.399	
17	5	H	0.584	
18	6	H	0.611	
19	7	O	0.237	
20	8	O	0.37	
21	9	H	0.511	
22	10	H	0.551	
23	11	H	0.556	

- **単独メモリ　：　メモリモード名**
- **単位　：　選択している単位**
- **データ数　：　現在記録されている単独メモリデータ数**
- **＋最大値　：　＋の範囲での荷重最大値**
- **－最大値　：　－の範囲での荷重最大値（絶対値により判定）**
- **＋最小値　：　＋の範囲での荷重最小値**
- **－最小値　：　－の範囲での荷重最小値（絶対値により判定）**
- **平均値　：　単独メモリデータの平均値**
- **標準偏差　：　単独メモリデータの標準偏差**
- **上限値　：　フォースゲージの上限コンパレータ値**
- **下限値　：　フォースゲージの下限コンパレータ値**
- **メモリ番号　：　メモリ番号**
- **判定　：　単独メモリデータの上下限判定結果（次項参照）**
- **荷重　：　単独メモリデータの荷重**

（2）連続メモリデータ取込

	A	B	C	D
1	連続メモリ			
2	単位	N		
3	データ数	28		
4	+最大値	1.285		
5	-最大値	0		
6	+最小値	0.005		
7	-最小値	0		
8	+ピーク値	1.374		
9	-ピーク値	-0.001		
10	平均値	0.494		
11	標準偏差	0.4232		
12	上限値	0.5		
13	下限値	0.1		
14	メモリ番号	判定	荷重	
15	1	O	0.342	
16	2	H	0.522	
17	3	H	0.798	
18	4	H	0.999	
19	5	H	1.097	
20	6	H	0.839	
21	7	O	0.375	
22	8	O	0.113	
23	9	L	0.037	

- **連続メモリ　：　メモリモード名**
- **単位　：　選択している単位**
- **データ数　：　現在記録されている連続メモリデータ数**
- **＋最大値　：　＋の範囲での荷重最大値**
- **－最大値　：　－の範囲での荷重最大値（絶対値により判定）**
- **＋最小値　：　＋の範囲での荷重最小値**
- **－最小値　：　－の範囲での荷重最小値（絶対値により判定）**
- **＋ピーク値　：　連続データの＋ピーク値**
- **－ピーク値　：　連続データの－ピーク値**
- **平均値　：　連続メモリデータの平均値**
- **標準偏差　：　連続メモリデータの標準偏差**
- **上限値　：　フォースゲージの上限コンパレータ値**
- **下限値　：　フォースゲージの下限コンパレータ値**
- **メモリ番号　：　連続メモリデータのメモリ番号**
- **判定　：　連続メモリデータの上下限判定結果（次項参照）**
- **荷重　：　連続メモリデータの荷重**

（3）標準メモリデータ取込

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	標準メモリ								
2	単位	N	上限値	0.5	下限値	0.1			
3	No.	+最大値	-最大値	+最小値	-最小値	+ピーク値	-ピーク値	最終値	
4	1	0.803	0	0.034	0	0.81	0	0.034	
5	2	0.993	0	0.04	0	1.029	0	0.04	
6	3	1.1	0	0.14	0	1.134	0	0.14	
7	4	0.846	0	0.04	0	0.87	0	0.04	
8	5	1.086	0	0.031	0	1.107	0	0.031	
9	6	0.392	0	0.046	0	0.534	0	0.113	
10	7	1.202	0	0.037	0	1.147	0	0.037	
11	8	0.936	0	0.055	0	1.087	0	0.063	
12	9	0.684	0	0.065	0	0.708	0	0.13	
13	10	0.679	0	0.058	0	0.645	0	0.143	
14	11	0.362	0	0.08	0	0.362	0	0.193	
15	12	0.986	0	0.084	0	1.011	0	0.122	
16	13	1.051	0	0.178	0	1.081	0	0.31	
17	14	1.025	0	0.081	0	1.025	0	0.24	
18	15	1.119	0	0.112	0	1.177	0	1.119	
19	16	0.873	0	0.085	0	0.926	0	0.176	
20	17	1.386	0	0.076	0	1.438	0	1.386	
21	18	1.172	0	0.308	0	1.208	0	0.325	
22	19	0.639	0	0.049	0	0.555	0	0.192	
23	20	0.223	0	0.029	0	0.679	0	0.223	
24	21	1.194	0	0.279	0	1.208	0	0.28	

- **標準メモリ　：　メモリモード名**
- **単位　：　選択している単位**
- **上限値　：　フォースゲージの上限コンパレータ値**
- **下限値　：　フォースゲージの下限コンパレータ値**
- **No.　：　標準メモリデータ番号**
- **＋最大値　：　＋の範囲での荷重最大値**
- **－最大値　：　－の範囲での荷重最大値（絶対値により判定）**
- **＋最小値　：　＋の範囲での荷重最小値**
- **－最小値　：　－の範囲での荷重最小値（絶対値により判定）**
- **＋ピーク値　：　標準メモリデータの＋ピーク値**
- **－ピーク値　：　標準メモリデータの－ピーク値**
- **最終値　：　標準メモリデータの最終値**

● メモリデータ取込時の判定結果表示について

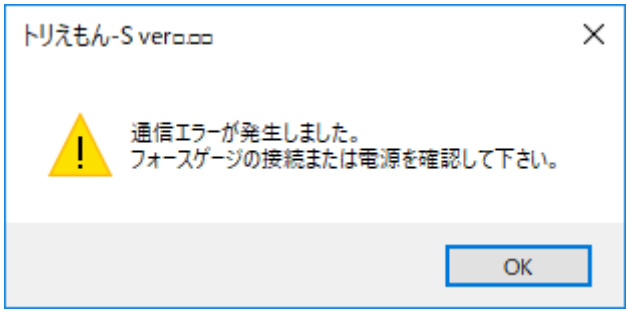
単独メモリデータ取込、及び連続メモリデータ取込において、判定結果は以下のように表示します。

- **荷重が範囲内にある　：　O 表示**
- **荷重が上限より大きい　：　H 表示**
- **荷重が下限より小さい　：　L 表示**
- **上限値＜下限値であり、荷重が上限以上下限以下である　：　B 表示**
- **判定を行わない（※）　：　空欄**

※　判定の ON、OFF はフォースゲージ本体のコンパレータ機能の設定で行います。

4.3.　通信異常時について

トリえもん-S ver□.□□を使用中に、フォースゲージ本体の電源を OFF にしたり、フォースゲージとパソコンの接続を切断した場合、そのままフォースゲージとの通信を行う操作（取込スタートボタンクリック等）を行うと、
以下のようなエラーメッセージが表示されるとともに、ステータス「通信異常」もしくは「接続異常」が表示されます。



このような状態になった場合、フォースゲージの接続、もしくは電源の ON を再確認し、正常な接続の状態にしてから再度フォースゲージとの通信を行う操作をトリえもん-S ver□.□□側で行い、復帰してください。
これらの操作を行っても復帰しない場合は、一度トリえもん-S ver□.□□を終了し、パソコンからシリアルケーブルを外した後、正しく接続してトリえもん-S ver□.□□を再起動してください。

ニデックドライブテクノロジー株式会社

各種 WEB ページご案内

お電話・問合せフォームでのお問い合せはこちら
https://www.nidec.com/jp/nidec-drivetechnology/inquiry/

国内外営業拠点情報
https://www.nidec.com/jp/nidec-drivetechnology/corporate/network/sales/

Copyright NIDEC DRIVE TECHNOLOGY Corporation. All Rights Reserved.

ニデックドライブテクノロジー株式会社
日本電産シンポ株式会社は 2023年4月1日に「ニデックドライブテクノロジー株式会社」に社名変更しました